

## 主な修正点と第3回審議会意見への対応

ページ	審議会意見	主な修正点及び対応内容
全体		<ul style="list-style-type: none"> <li>●年次には西暦を併記する。</li> <li>●漢字の間違いを訂正する。</li> <li>●基本計画との整合を図り、施策名等を修正する。</li> </ul>

### 基本構想（資料①）

ページ	項目及び審議会意見	主な修正点及び対応内容
P1	まちづくりの基本理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文章中にある山陽小野田市の表記を「本市」とする。</li> </ul> ※全体を通して修正
P3	《まちづくりの課題》	<ul style="list-style-type: none"> <li>●U J I ターンについては、年代を限定しないこととし若者・団塊世代を削除する。</li> </ul>
	《まちづくりの基本目標》の構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>●5つの基本目標に変更はないが、それぞれの基本目標に施策大綱で掲げていた課題と取組方針を記載する。</li> </ul>
	《まちづくりの基本目標》基本目標(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人を表す言葉の中に用いられている「障害」は「障がい」と表記する。</li> </ul> ※全体を通して修正
P4	《まちづくりの基本目標》基本目標(5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●他の基本目標との表現を合わせるため、3～5行目を削除する。</li> </ul>
P10	③行財政改革により効率的で、健全な行財政基盤づくりを進めます	<ul style="list-style-type: none"> <li>●歳入確保の記述のため「負担金の適正化」を「手数料の見直し」に訂正する。</li> <li>●「広域連携」は財政の収支バランスに直接つながらないため、最後の行に記載する。</li> </ul>
P11	①自然環境の保全と活用を進めます	<ul style="list-style-type: none"> <li>●前後にある自然環境の「保全」に関する記述を前段にまとめる。</li> </ul>
	③資源循環型社会のまちづくりを進めます	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ごみ減量にかかる記述を3R「リデュース」「リユース」「リサイクル」の意味である、ごみの発生抑制、再使用、再生利用とする。</li> </ul>
P12	①多様な働く場の確保を進めます	<ul style="list-style-type: none"> <li>●総合計画は、今後10年間の計画であり、「団塊世代」という期間が限定される言葉は削除する。</li> </ul>
	②魅力と活力ある産業の振興を進めます	<ul style="list-style-type: none"> <li>●工業振興に「既存企業の内発促進」を追加する。</li> </ul>
	○オーストラリアとの貿易自由化により、農地が荒れ環境が悪化する懸念がある。このため、農業の担い手として法人格を育成し、農用地の利用促進・合理化を行って、担い手集積を図り、農地・環境を保全する必要があるため、これを基本構想に入れてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●4「にぎわいと活力にみちたまちづくり」の「②魅力と活力ある産業の振興を進めます」の農林水産業の振興の項目に「基幹的な担い手への農地集積の促進」という文を記載した。</li> </ul>

P12	○第一次産業として「地産地消」も必要ですが、地域ブランドをつくり、対外発信する目標が必要である。	●「②魅力と活力ある産業の振興を進めます」の農林水産業の振興の項目に、「地域ブランドの確立」を記載している。
-----	--	--

### 序論（資料②）

ページ	項目	主な修正点及び対応内容
P3	(1)安心を求める意識の高まり	●「少子高齢化」は「少子化」と「高齢化」の異なる課題を持つ語句であることから「少子・高齢化」に変更する。
P4	(6)生活重視のまちづくり	●「産業振興」や「地域活性化」を目的とするのではなく→も <u>重要ですが</u> に変更する。
P7	(1)位置と地勢	●面積など、市の大きさを記載する。 ●新市建設計画にあわせ「交通の要衝」の記述を最後にする。
P13	②地域自治と行財政改革の推進	●高齢者は地域で活躍しておられ、地域の衰退にはつながらないので削除する。

### 戦略プロジェクト（資料③）

ページ	項目及び審議会意見	主な修正点及び対応内容
P2	○重点プロジェクトには、財政再建を最優先課題とする必要がある。	●「重点戦略の考え方」に「行政改革大綱を着実に推進して財政再建に取り組む」という文言を記載した。
P4	◆青少年犯罪を防止するとともに、子どもを犯罪から守ります	●取り組みに「環境浄化、非行防止活動の推進」を追加する。
	○「①住み良さ向上プロジェクト」には、児童の通学時の安全や高齢者が歩道を歩く時の安全性の向上への取り組みがみられない、具体的に道路の安全性の向上を入れる必要がある。	●「①住み良さ向上プロジェクト」の＜取り組みの方向＞として「子どもや高齢者など交通弱者の安全を守ります」を追加し、その施策を「交通安全施設の整備、交通安全教育・地域活動の推進」とした。
	○①住み良さ向上プロジェクトには、「生活環境を美しくする」ことが必要。自治会に働きかけ、厚狭川や有帆川の護岸に花づくりをすることが考えられる。	●重点プロジェクトとしての位置づけはしないが、基本計画の「9-(2)公園・緑地の整備・保全」の施策展開にある「③緑化の推進」の中で取り組みを図る。
P5	○②みらい育成プロジェクトに、定年退職者を登録して人材バンクを整備する必要がある。	●重点プロジェクトとしての位置づけはしないが、基本計画の「5-(2)市民活動の活性化」の施策展開にある「①ボランティア・NPO等の育成」の中で人材活用の取り組みを図る。

P7	◆市民が参加しやすい環境をつくります	●「自治基本条例（仮称）の制定」を追加する。
P10	◆新産業の創出によるまちの活性化を図ります	●基本計画の11-(1)産学公連携による新産業の創出に掲げる取り組みとの整合を図った。

#### 基本計画（資料④）

ページ	審議会意見	主な修正点及び対応内容
全体		<ul style="list-style-type: none"> <li>●「目標指標」を設定する。</li> <li>●「主な取り組み」を記入する。</li> <li>●「用語解説」を記述する。</li> </ul>
全体	○基本計画の「目標指標」の現状は、いつの時点のものかわからないので、年次を入れる必要がある。	●「目標指標」の現状値に基準年を表示した。
P43	○児童館と老人憩いの場を一緒に整備し、高齢者と子どもの交流を促進するべきだと思う。	●基本計画の「5-(1)地域コミュニティの振興」の施策展開にある「②地域イベント・行事の活性化」を通じて世代間交流の推進を図る。

#### その他

ページ	審議会意見	主な修正点及び対応内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「頑張る地方応援プログラム」の活用について</li> <li>○「みなとオアシス制度」の活用について</li> </ul>	●事業の実施にあたっては、制度の活用を検討する。

## 事前の意見に対する対応

ページ	意見	対応内容
資料① P4、P12	○基本目標(4)「往來のあるまちづくり」を「往來の盛んなまちづくり」にした方が、より活気が感じられるのではないか。	●「往來の盛んな」に変更する。
資料① P10 ③ 下1行	○「市域を越えた広域的な連携を進めます。」は唐突な感じがする。	●「また、市域を越えた <u>地域課題の解決と地域全体の活性化</u> を目指し、 <u>広域的な連携を進めます。</u> 」に変更する。
資料① P12 ③ 下2行	○「多様な文化や人々との出会い」は何か言葉足らずのような気がする。	●「 <u>多様な文化や人々との出会いを通して豊かな人間性を育むため、関係機関との連携を図りながら、地域間交流、国際交流を推進します。</u> 」に変更する。
資料② P4	○(5)「現在、国と地方を・・・見込まれています。」文章の主旨がわかりにくい。	●「現在、国と地方を合わせた政府債務残高は約800兆円となっています。人口減少時代を迎え、税負担者が減少し続けることが見込まれており、将来の世代に負担の先送りをすれば、増税などによる大幅な負担増は避けて通れない事態も予測されます。」に変更する。
資料② P12 (2) 7行目	○(2)「地域固有の資源として」は言葉足らずのような気がする。	●「 <u>豊かな自然環境や多様な歴史文化資源は、地域固有の資源を生かした魅力的なまちづくりの観点から見て本市の強みです。</u> 」に変更する。